

# 福祉施設整備特別委員会

平成29年10月6日

## 1 陳情審査

### (1) 継続審査

陳情29-1 親亡き後も住み慣れた地域で共生できる障がい者複合施設新設の早急な対応を求める陳情

## 2 報告事項

### 【保健福祉部】

(1) 障害者計画等における施設の検討状況について 【資料】

### 【政策経営部】

(1) 軽井沢少年自然の家・旧箱根千代田荘の利活用検討について 【資料】

## 3 その他

## 4 閉会中の特定事件継続調査事項について

福祉施設整備特別委員会 送付29-1

親亡き後も住み慣れた地域で共生できる  
障がい者複合施設新設の早急な対応を求める陳情

受付年月日 平成29年5月30日

陳情者

## 陳情書

(趣旨)

議長はじめ区議の皆様には、平素より障がい者福祉への御理解、御配慮をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、昨年2月10日に、「千代田区における障がい者施設施策及び組織の拡充を求める陳情」を提出し、地域保健福祉委員会において採択していただきました。また、平成29年第1回千代田区議会定例会で、「障がい者の切実なニーズに応えるために」の代表質問で障がい者福祉の現状と問題点が明らかにされ、定例会継続会では、「障がい者福祉施設の増設を求める決議」が議会一致で採択されました。

障がい者福祉施設として、親亡き後も住み慣れた地域で共生できる住まいの必要性と、日中の活動場所である生活介護施設や就労継続施設・就労移行施設が不足している現状は御理解いただいておりますが、介護者である障がい者の親が高齢化し、健康面・精神面での不安もあり、障がい者の必要に応じた住まいとなる施設の整備は、一刻の猶予もない状態です。また、介護者は、介護に必要な時間と、家族の生活のために必要な時間のやりくりを追われ、休息の時間をとる間もありません。ショートステイを利用したくても床数が少なく、予約が困難な状況です。障害者福祉センターの「ふぁみりあ」では、男女混在しており、利用を躊躇する方もいます。障がい児については、利用出来る施設が千代田区内になく、他区の施設を利用するにも在住者優先で予約できません。都道府県区市町村では、2018年度までに、全ての障がい者を対象にした障がい福祉計画と、18歳未満向けの障がい児福祉計画を作ることが義務付けられます。障がい者への理解が進んではおりますが、どこの地域でも障がい者施設を設立する時には反対の声があり、御理解いただくためにはとても長い期間がかかるということを知ります。早急に施設用地が決まらないのでは、先の見通しが立たず不安でなりません。千代田区における障がい者福祉の充実を切に願い、障がいの種別に関わらず、親亡き後も地域で共生できる、障がい者複合施設新設についての早急な対応を求める陳情として、次のことを求めます。

1. 障がいの種別に関わらず、親亡き後も地域で共生し、終の住処となる施設の新設。
2. 障がい者の日中活動の場である生活介護施設と就労継続・就労移行施設の増設。
3. 障がい者が利用できる、平日および休日の余暇活動の場と、余暇事業の整備。
4. 障がいの種別に関わらず、18歳未満の障がい児と障がい者が利用可能なショートステイの増床および増設。

5. 障がい児発達支援センターの増設。

以上、障がい者福祉の更なる充実のために、是非、議会、議員の皆様のお力添えにより、早急な施設整備をお願いいたします。

平成29年5月30日

千代田区議会議長 殿

## 障害者計画等における施設の検討状況について

### 1 検討経過

- ・本年度策定作業を進めている（仮称）障害者（児）福祉プランについて、障害者支援協議会での議論が進んでいる。
- ・障害者施設の整備に関する方向性を議論するために、昨年度実施したアンケート調査に加え、施設需要をより詳細に把握することが求められた。
- ・そのため、平成 29 年 8 月障害者施設整備検討のための実態・ニーズ把握及び課題分析等業務委託を行い、平成 30 年 1 月末に調査結果が提出される予定である。

### 2 委託業務内容

- (1) ニーズ把握
  - ・障害者へのアンケート調査分析（平成 28 年度実施）
  - ・障害者団体等からのヒアリング（3～5 団体）及び意見とりまとめ等
- (2) 現状の課題分析（障害者及び現施設の状況・課題）
  - ・障害者の状況
  - ・障害者就労支援施設 ジョブ・サポート・プラザ ちよだ
  - ・障害者福祉センター えみふる
- (3) 障害者施設の概要及び提案
  - ・サービス、施設規模（定員・面積等）等
  - ・他自治体の特徴的な施設
  - ・現状と課題を踏まえた必要な施設

### 3 今後のスケジュール

平成 29 年 11 月中旬

第 3 回障害者支援協議会開催

委託業務の結果を踏まえた施設整備の方向性等を含む（仮称）障害者（児）福祉プラン（素案）の検討

平成 29 年 12 月

第 4 回障害者支援協議会

（仮称）障害者（児）福祉プラン（案）の検討

平成 29 年 12 月～平成 30 年 1 月中旬

パブリックコメント実施

平成 30 年 3 月

（仮称）障害者（児）福祉プランを策定

### 4 その他

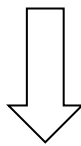
- 文京総合福祉センターについて（参考）

軽井沢少年自然の家・旧箱根千代田荘の利活用検討について

(今までの検討経過、今後の進め方(案))

平成29年度

5月 ～ 9月	低未利用区有財産に係る内部検討体制を構築し検討開始 庁内の行政需要調査 現地調査・軽井沢町意向調査等を実施
---------------	---



※様々にニーズがあると想定できるが、実現可能なものがどのようなものか  
調査検討する必要がある。

(専門家を活用) プロポーザル実施

12月 ～ 2月	両施設に係る活用案の調査・検討・市場リサーチ等の実施 既存施設の劣化状況調査の実施  ①想定できる利活用案の把握、整理 ②運営事業者への参入意思や条件をヒアリング ③条件を整理し、利活用方法の選定に向けた検討・調整など
----------------	--



3月	区民や有識者を委員に入れた【利活用方法検討会】の立ち上げ
----	------------------------------



平成30年度

上半期	【利活用方法検討会】にて検討を実施 検討した利活用方法のたたき台についてパブコメ等の実施 パブコメ等を踏まえ利活用方法検討 ⇒ 事業者公募要綱案検討
-----	--



上半期	事業者公募要綱案決定
-----	------------



下半期	区民や有識者を委員に入れた【事業者選定委員会】の設置 提案の募集・審査実施
-----	--



下半期	事業者の選定
-----	--------